

科目（講座名）	コミュニケーション英語Ⅱ（特進）	4単位	学校必履修
教科書	Revised LANDMARK（啓林館）		
副教材	Revised LANDMARK Workbook（啓林館） WORDBOX（美誠社） Hyper Listening 3 rd Edition Elementary（桐原書店） 速読演習 Mileage Reader③（いっずな書店）		

学習の目標

1. 説明・物語などを読み、情報や考えを理解し、問いに答える事ができる。本文を自ら音読をすることができる。
3. 読んだことや経験したことに基づき、情報や考えを簡単な英語で書き、話し合うことができる。
4. 英語を通してさまざまな文化に触れ、多様な分野や異文化について関心を持ち、理解することができる。

授業内容

1. 『Revised LANDMARK English Communication II』を主教材とする。
2. 『WORDBOX』を用い、週1回の単語テスト、長期休暇明けの単語テストによって語彙力の増強を図る。
3. 未知の語について発音記号から適切な発音ができるようにする。
4. 『Hyper Listening』でリスニングの基礎力を伸長させる。
5. JET を活用し、発音や自然な表現およびコミュニケーション能力の向上を目指す。

学習方法

- ・自発的に英語を学ぶ姿勢を身に付けさせる。
- ・週に1回実施する単語テストの準備に日常的に取り組み、不合格者は追試を行う。
- ・授業での教員の指示に従って練習等の活動に積極的に参加し、課題は期日までに不足がないようにやって提出する。

評価の観点

関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を期日までにこなして提出するなど、指示に従って意欲的に参加している。 ・ペアやグループの中でも間違いを恐れずに練習するなど積極的に活動に取り組んでいる。
表現の能力	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に伝えることができる自然な発音で発話することができる。 ・教科書の内容等に基づき、情報や考えなどについて適切に書いたり話したりできる。
理解の能力	<ul style="list-style-type: none"> ・教員やパートナーの言ったことや CD 等の音声を正しく聞き取ることができる。 ・教材の内容等を正しく読み取ることができる。
言語や文化についての知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・教材に含まれる語彙・表現や文法事項について理解している。 ・教材に含まれる内容を通して、さまざまな国の文化を知り、理解している。

評価方法

上記の評価の観点を参考にし、1, 2 学期はそれぞれの学期の成績を、3 学期は通年の総合成績で評価する。(いずれも絶対・相対を加味した5段階評価を用いる。)

年間計画

学期	月	配当時間	単元	学習内容	学習上の留意点
1	4				発音記号の読み方を適宜学んでいく。
	5	8	Lesson 1	I'm the Strongest!	単語テストを開始する。 リテリングで4コマの絵を簡単な英語を使って説明できる。
	6	8	Lesson 2	Tokyo's Seven-minute Miracle	時制や文型を確認する。
	7	8	Lesson 3	Saint Bernard Dogs	英語表現に併せて文法の復習をする。
2	9	5	Lesson 4	Chanel's Style	単語テストを行う。
	10	6	Lesson 5	Science of Love	リテリングで4コマの絵を簡単な英語を使って説明できる。
	11	8	Lesson 6	Gaudi and His Messenger	時制や文型を確認する。
	12	9	Lesson 7	Letters from a Battlefield	英語表現に併せて文法の復習をする。 冬休みの宿題および学習について説明をする。
3	1	1 1	Lesson 8	Edo: A Sustainable Society	本文の内容に関してグループで話し合い、まとめる
	2	1 2	Lesson 9	AI and Our Future	1年間のまとめを行う。 春休みの宿題および学習について説明を受ける。
	3				

科目（講座名）	コミュニケーション英語Ⅱ（総合）	4単位	学校必履修
教科書	Revised LANDMARK（啓林館）	担当教諭	静 山口
副教材	Revised LANDMARK Workbook（啓林館） WORDBOX（美誠社） Hyper Listening 3 rd Edition Elementary（桐原書店） 速読演習 Mileage Reader③（いっいずな書店）		

学習の目標

1. 説明・物語などを読み、情報や考えを理解し、問いに答える事ができる。本文を自ら音読をすることができる。
3. 読んだことや経験したことに基づき、情報や考えを簡単な英語で書き、話し合うことができる。
4. 英語を通してさまざまな文化に触れ、多様な分野や異文化について関心を持ち、理解することができる。

授業内容

1. 『Revised LANDMARK English Communication II』を主教材とする。
2. 『WORDBOX』を用い、週1回の単語テスト、長期休暇明けの単語テストによって語彙力の増強を図る。
3. 未知の語について発音記号から適切な発音ができるようにする。
4. 『Hyper Listening』でリスニングの基礎力を伸長させる。
5. JET を活用し、発音や自然な表現およびコミュニケーション能力の向上を目指す。

学習方法

- ・自発的に英語を学ぶ姿勢を身に付けさせる。
- ・週に1回実施する単語テストの準備に日常的に取り組み、不合格者は追試を行う。
- ・授業での教員の指示に従って練習等の活動に積極的に参加し、課題は期日までに不足がないようにやって提出する。

評価の観点

関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を期日までにこなして提出するなど、指示に従って意欲的に参加している。 ・ペアやグループの中でも間違いを恐れずに練習するなど積極的に活動に取り組んでいる。
表現の能力	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に伝えることができる自然な発音で発話することができる。 ・教科書の内容等に基づき、情報や考えなどについて適切に書いたり話したりできる。
理解の能力	<ul style="list-style-type: none"> ・教員やパートナーの言ったことや CD 等の音声を正しく聞き取ることができる。 ・教材の内容等を正しく読み取ることができる。
言語や文化についての知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・教材に含まれる語彙・表現や文法事項について理解している。 ・教材に含まれる内容を通して、さまざまな国の文化を知り、理解している。

評価方法

上記の評価の観点を参考にし、1, 2学期はそれぞれの学期の成績を、3学期は通年の総合成績で評価する。（いずれも絶対・相対を加味した5段階評価を用いる。）

年間計画

学期	月	配当 時間	単元	学習内容	学習上の留意点
1	4				発音記号の読み方を適宜学んでいく。
	5	8	Lesson 1	I'm the Strongest!	単語テストを開始する。 新出英単語の意味や用法をしっかりと理解する。
	6	8	Lesson 2	Tokyo's Seven-minute Miracle	時制や文型を確認する。 英語表現に併せて文法の復習をする。
	7	8	Lesson 3	Saint Bernard Dogs	
2	9	5	Lesson 4	Chanel's Style	単語テストを行う。
	10	6	Lesson 5	Science of Love	本文中に出てくる文法事項をしっかりと理解する。 時制や文型を確認する。
	11	8	Lesson 6	Gaudi and His Messenger	英語表現に併せて文法の復習をする。
	12	9	Lesson 7	Letters from a Battlefield	冬休みの宿題および学習について説明をする。
3	1	1 1	Lesson 8	Edo: A Sustainable Society	本文の内容に関してグループで話し合い、まとめることができる。
	2	1 2	Lesson 9	AI and Our Future	1年間のまとめを行う。 春休みの宿題および学習について説明を受ける。
	3				

科目（講座名）	英語表現Ⅱ	2単位	学校必履修
教科書	Revised Vision Quest English Expression II Hope（啓林館）		
副教材	Revised Vision Quest English Expression II Hope Work Book（啓林館） Next Stage 4th Edition 英文法・語法問題（桐原書店）		

学習の目標

1. 英語の基本的な言語構造を総括的に理解し、様々な種類の文章を書く基礎を固める。
2. 英語の基本的な表現を理解し、言いたい内容を整理して論理的に伝えられるようになる。
3. 読んだこと、学んだこと、経験したこと等に基づき、情報や考えなどをまとめる。
また、他者の意見等を理解して、それに対する質問や意見を伝えられるようになる。

授業内容

1. 「Revised Vision Quest English Expression II Hope」を主たるテキストとし、「英語表現Ⅰ」で学んだことを別の切り口（伝え方の側面）から再度まとめ直す。実際の会話や英作文に役立つ知識を更に学んでいく。
2. 場面に合わせて、学んだ文法や表現などの知識を実際に活用してみる。

学習方法

- ・提示→説明→演習という流れで、授業を行う。問題演習や英作文などで実際に該当単元の文法知識を使い、定着を図る。
- ・副教材は自習できる形式のものなので、家庭学習にも用い、自分のペースで学習を進められるようにする。

評価の観点

関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・予習を含めて、授業によく取り組んでいる。 ・課題をしっかりとやり、期日に提出できる。 ・間違いを恐れず、積極的に英語を使おうとしている。
表現の能力	<ul style="list-style-type: none"> ・英語らしい発音で発話することができる。 ・与えられた状況に合うように、適切に伝えることができる。 ・自分のことや与えられた課題について、英文を書くことができる。
理解の能力	<ul style="list-style-type: none"> ・説明を論理的にきちんと理解することができる。 ・英文を読んだり聞いたりし、正しい解答を選べる。
言語や文化についての知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・当該単元だけに限らず、英語の言語構造を、総合的に関連づけて、理解・把握できる。 ・扱う教材やテーマ等を通して、他国の文化や習慣への関心を高められる。

評価方法

上記、評価の観点を参考にし、1、2学期は、それぞれの学期成績を、3学期は通年の総合成績で、評価する。（いずれも、絶対・相対を加味した5段階評価）

年間計画

学期	月	配当時間	単元	学習内容	学習活動とその留意点
1	4	4			<p>話題 社会問題：Model Conversation で読書の必要性についての会話を学ぶ。Expressing では日本の出生率の低下について自分の意見を表明できる。</p>
	5	6	Lesson 10	How do you spend Christmas? 関係詞	<p>発音 文の中での強調：対比される語や強調される語は強く読まれるというルールを学び、会話の流れを考えた上で適切な抑揚で発話できる。</p>
	6	8	Lesson 11	Did you watch the debate on TV last night? 比較	<p>機能 意見を述べる／主張する：頻出表現を学び、断定的な言い方や控えめな主張などの適切な表現を選んで自分の意見を表明することができる。</p>
	7	3	Lesson 12	I wish my parents were more understanding. 仮定法	<p>文法 比較：複数のものを比較することで、物事の状態をわかりやすく伝えることができる。</p>
2	9	5	Lesson 1	You have several traditional events.	<p>関心 数量や所要時間を尋ね、答える。</p>
	10	7	Lesson 2	How did your work experience go?	<p>表現 行事の説明に必要な項目を挙げ、英文にまとめる。</p>
	11	8	Lesson 3	Let me tell you a story.	<p>言語 例文を元に、英語では主語を明確にした上で文を作ることを学ぶ。</p>
	12	5	Lesson 4	I want to work as an air traffic controller.	
3	1	7	Lesson 5	I wish I could have such an experience again.	<p>関心 助言を求めたり与えたりする。仮定の状況を話し合う。</p>
	2	7	Lesson 6	This is a photo taken in Vancouver, Canada.	<p>表現 100万円があれば自分・家族・友人・他の人々に対して何をしたいかを列挙する。</p>
	3	4			<p>言語 話し手の気持ちや判断を表す助動詞・仮定法の使い方を学ぶ。</p>

科目（講座名）	家庭基礎	2単位	必修
教科書	新家庭基礎（実教出版）		
副教材	新家庭基礎 学習ノート（実教出版）		

学習の目標

- ・人の一生を生涯発達の視点で総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会の関わりについて理解する。
- ・生活課題を解決するために必要な知識と技術を習得し、家庭生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身につける。

授業内容

- | | | | | | |
|---------------|----------|-------------|-------------|------------|-----------|
| 1 食生活をつくる | ・私たちの食生活 | ・栄養と食品のかかわり | ・食品の選び方と安全 | ・食事の計画と管理 | |
| 2 衣生活をつくる | | ・人と衣服のかかわり | ・衣生活の管理 | ・手縫いの基礎 | |
| 3 子どもとかかわる | | ・子どもを知る | ・発達のすばらしさ | ・子どもの生活 | ・健やかに育つ環境 |
| 4 自分らしい生き方と家族 | | ・共に生きる家族 | | ・家族に関する法律 | |
| 5 消費行動を考える | | ・消費行動と意思決定 | ・社会の変化と消費生活 | ・経済の仕組みを知る | |
| 6 住生活をつくる | | ・人と住まいのかかわり | ・住まいを計画する | ・健康的な住まい環境 | |

学習方法

一斉授業 調理実習、被服実習、視聴覚教材の視聴

評価の観点

関心・意欲・態度	家族・子ども・消費・経済などに対して、また、それらに関連する制度や法律等に関心を持ち、さらに生きていくうえの知識・技術を習得して、自分の生活をデザインしようとする意欲がある。
思考・判断	学習した内容を理解したうえで、自分の生活課題や社会的な課題を見つけ、解決のためにどのようなことができるのかを思考し、判断した内容をまとめることができる。
知識・理解	自立するために必要な調理技術や縫製技術等の基礎的技術を身に付けることができる。
技能・表現	人が生きていくうえで必要な「生活」にかかわる基本的な知識を身に付け、理解している。

評価方法

レポート、作品製作、定期試験を総合的に判断し評価を行う。

1.2 学期は各学期に評価を行い、3 学期は 1.2.3 学期の評価を総合的に評価し、学年の評価を行う。

年間計画

学期	月	配当時間	単元	学習内容	学習上の留意点
1	4	2 6	第1編 第1章 自分らしい 生き方と家 族	共に生きる家族 家族に関する法律	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな結婚，家族・家庭の意義や機能について理解する。 ・変化する家族・家庭について学習し，現在抱える課題などを理解する。 ・家族に関する法律について学習し，理解する。 ・子どもの誕生，子どもの心身の発達と特徴について理解する。 ・おもちゃや絵本などの児童文化財が子どもの発達や生活にとってどのような影響を及ぼすのかを考え，おもちゃ製作などの実習につなげる。” ・家庭保育と集団保育，子育てのための社会的支援について理解する。
	5				
	6				
	7				
2	9	2 8	第2編 第1章 食生活をつ くる	私たちの食生活 栄養と食品のかかわり 食品の選び方と安全 食事の計画と調理 調理実習	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養素の種類と働きやそれぞれの栄養素が多く含まれる食品についての基礎的な知識、食品衛生について学ぶ。 ・食品・栄養の知識をともに、食事摂取基準、食品群別摂取量などを用い、バランスのとれた家族の献立作成ができるようにする。 ・調理に関して基礎的な技術を身につけ、食事マナーを知り、楽しく食事ができるようにする。
	10				
	11				
	12		第2章 衣生活をつ くる	人と衣服のかかわり 衣生活の管理 被服製作	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な衣生活を送るために、衣服の購入・選択、洗濯・保管、廃棄までの流れを理解し、社会生活に生かすことができる。 ・基本的な手縫いの手法を身につける。
3	1	1 6	第3章 住生活をつ くる	人と住まいのかかわり 住まいを計画する 健康的な住まい環境	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の機能に応じた住空間の構成を理解し、ライフステージやライフスタイルに応じた住生活の計画や平面図の読みとりができるようにする。 ・契約，多様な販売方法や支払方法，問題商法について理解する。また，被害にあった場合の解決方法を理解する。 ・消費者の権利と責任について理解し，自主的に行動する必要性を理解する。 ・家庭の収入・支出，予算生活の必要性について理解する。
	2				
	3				
			第3編 第1章 消費行動を 考える	消費行動と意思決定 社会の変化と消費生活 消費者の権利と責任	
			第2章 経済的に自 立する	経済のしくみを知る	

総合的な学習の時間

科目（講座名）	総合的な学習の時間（2年生）	1単位	必履修
副教材	ベネッセ 進路探求ワーク 2		
担当教諭	2 学年担任、進路指導部		

学習の目標

キャリア教育の一環として生徒が将来にどのような展望を持たせる。その実現のために今、そして将来にわたって何をすべきかについて示唆し、共に考え成長を促す。

授業内容

進路ノートを中心にカリキュラムを組み、自己を見つめ、特性を把握し、何をやりたいのかを認識させるために自己分析から始める。就職状況の厳しさを伝え、今の取り組みが将来を方向つけることを理解させる。「講話、解説からクラスへ」といった流れを作り、全体で与えた刺激をクラスで自らの問題としてとらえさせ、進路ノートにそって考えさせる。目先の進路だけではなくキャリア教育として将来にわたって展望を持ち、努力できるような学年、進路が連携したサポート体制をもとに3年間を通じて成長を促せるよう働きかける。

学習方法

進路指導部を中心に外部講師なども利用し、将来設計と目標実現、そして、将来の困難に直面した際に乗り越えていくだけの力を育成していく。座学だけでなく修学旅行のような行事も利用し、すべての活動がキャリア教育との認識を持って全学的に導いていく。

評価方法

秋に行われる選択科目をスムーズに決定すること。自己実現に向けて普段の生活が安定し、学力向上につながっているかを判断材料とする。

総合的な学習の時間

年間計画

学期	月	担当 時間	活動項目	活動内容	評価計画
1	4	3	1, スタディサポート 2, 進路学年集会 3, 自己分析	1, 課題テストと生活意識調査 2, 年間を通じてのキャリア教育意識付け 3, 現在の評定平均を把握し、3カ年の評定の出し方を説明し、目標到達までに以後、どのように取り組むことが必要かを導く	学力と学習時間の 相関関係から自己 に不足しているも のを把握させ評価 する
	5	3	1, 受験形態の説明	1, 体育館で学年集会の形態をとり、受験を意識させる	進路ノートの記入 状況で評価
			2, 仕事について知る	2, 仕事についての現実を最新のデータを基に解説する	進路ノートの記入 状況で評価
			3, 自己分析 2	3, 「始めよう未来の自分探し」を視聴し、将来について考えさせる。	視聴後、進路ノー トへの感想で評価
6	3	1, 学部、学科研究	1, 業者による学部学科研究ガイダンスを企画	ガイダンス終了 後、アンケートで 評価	
		2, 学部学科研究 2	2, ガイダンスに基づき「進路決定ムック」で自主研究	自主学習後、希望 学部学科を導き出 せたかで評価	
		3, オープンキャンパス 対応	3, 進路の手引き、外部資料配付、オープンキャンパスでの注意事項を説明	3, オープンキャン パス計画で評価	
7	1	1, 選択教科レクチャーと夏期対策	1, 選択教科のレクチャーを行うと同時に夏期の勉強の仕方を教科ごとに指導	1, 勉強計画で評価	

総合的な学習の時間

2	2	3,	1, スタディサポート	1, 課題テストと生活意識調査	学力と学習時間の 相関関係から自己 に不足しているも のを把握させ評価 する。 協力の様子で評価 報告会感想で評価
	9		2, チームで働くこと	2, 文化祭準備	
			3, オープンキャンパス 報告会	3, 各分野から数人選抜し、発表	
	10	2	1, 選択教科ガイダンス	1, 教科の特徴を各教科から説明を 受け、将来に通じる教科学習は何か を考察させキャリア教育につなげ る	選択教科調査票と 面談にて評価
			2, 社会に目を向ける	2, 修学旅行沖縄の事前学習、沖縄 の歴史、現在を学び自ら課題を見つ けて研究する	計画表を作成し評 価する
		4	1, お金について考える	1, 進路にかかるお金について考え させる	進路ノートに記載 させ評価
2, 選択教科考察			2, 選択教科研究を行い、将来につ ながる学習を見いださせる。	2, 個別面談を行 い、個々の選択教 科と将来を相談 し、評価する	
11	4	3, 生涯賃金、離職、再 就職を考える	3, 正社員、非正規労働を比較させ ると共に現在の企業の現状、離職な どについて考えさせる	3, 進路ノートで 評価	
		4, 小論文指導	4, 小論文についての学習を行い、 実際に書かせてみる	4, 小論文添削指 導で評価	
12	3	1, 受験を意識する	1, 受験計画表を作成させ来年を想 定して立案 2, 逆算しての計画作成	1, 計画表で評価	
		2, 受験を意識する2		2, 逆算しての計画作成	2, 逆算計画表を 評価
		3, 職業人インタビュー		3, 課題となる職業人インタビューに ついて注意点を学ぶ	3, 計画書で評価

総合的な学習の時間

3,	1	2	1, 職業人インタビュー	1, 発表を行わせ、様々な職業を学ぶ	1, 報告書によって評価
			2, 社会について考えよう	2, 現代社会における時事問題を考察し、教養、社会性を高める	2, 進路ノートの内容によって評価
	2	3,	1, 添削小論文	1, どの分野でも必要となる小論文を書かせ能力向上に努める	1, 小論文添削内容によって評価
			2, 自分史研究	2, 自分史から10年後、20年後を考えさせる。	2, レポートによって評価
			3, 1年後を意識する	3, 志望理由書を実際にかかせ将来を意識させる	志望理由書によって評価
	3	2	1, 1年間を振り返ろう	1, キャリアについて考えた1年間を見直し、将来につなげる	1, 振り返り表によって評価
		2, 合格体験報告会	2, 進路決定に成功した直近の先輩に話を伺い次の1年につなげる	2, レポートによって評価	